



大陸方面から前線が伸びてきて雨と涼しさを運んできましたが、まるで梅雨のような天気になってしまいました。小鳥の声でしたのでサクラの木を仰ぎ見たらメジロやシジュウカラが仲良くやってきていました。池にはカイツブリの若鳥がいました。周回路のあちこちで見られたコシアキトンボの群やウスバキトンボの群も姿を現しません。よく草に止まっていたハラビロトンボにも出会いませんでした。



クサギカメムシ

イソノキやサクラの葉の上にはいました。体長 15 ㎖位ですが、これより一回り大きく黄色い



斑点のある(左:)キマダラカメムシもよく見られるようになってきました。



タカサゴユリ 園芸種のテッポウユリに似ています。風で飛ばされる種子をたくさんつけるので広がっています。



ヒヨドリバナ開花

ヒヨドリの良くなく頃から咲くのでこの名が付いたと言われます。菊の仲間、筒状花のみをつけます。



ミカワオサムシ

体長 30 ㎖。湿った道端でよく見ます。後ろ羽根が退化しているので、歩き回ってミミズやカタツムリなどを捕食します。手で捕まえたら、手首がピリピリしたので水ですぐ洗いました。この仲間は尾部からメタアクリル酸を含む分泌物を出すそうで、それでやられたのかも知れません。生体を素手で捕まえるのは止めた方が無難です。



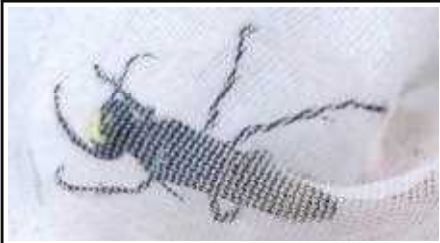
プライヤハマキ

長さ 5 ㎖。プライヤとは、英国生まれで来日後、鱗翅目や鳥類の調査研究をしたヘンリー・プライヤーのことで、特別天然記念物ノグチゲラを発見し、1888年日本で死去しました。



コガタコガネグモの幼体

大きさは 30 ㎖ほど。足の先に X 字形に白い帯（隠れ帯）を着けることが多い。



クロアナバチ

ネットで捕まえたが、他の場所で撮ったものが左の写真です...



...クロアナバチは狩りバチの一種で、体長 30 ㍉、額が白いのが特徴です。近くに巣を掘る時に出た土が盛り上がっていました。この穴の中にキリギリスの仲間に麻酔をかけて引き込み産卵します。今日見つかった穴



は 2 つでしたが、通常は穴を 3 つ掘り、中央が本物です。



ヨツボシホソバ幼虫

長さ 25 ㍉位の幼虫がぶら下がっていました。幼虫の食草は地衣類です。毒針毛がある



といわれています。



アカメガシワにあいた穴

これから秋になるとよく目立つようになりませんが、この穴を



開けたのは小さな虫です。

...

...サメハダツブノミハムシです。

ちょうどアカメガシワの葉上で交尾しているペアに出会いました。後肢の腿節が太くよく跳ぶのでノミハムシとつけられています。



オオ

カマキリ

カマキリ(チヨウセンカマキリ)かオオカマキリかは定かではないがこの辺りでカマキリを見たこと

がないのでオオカマキリとしました。→の先に小さな翅ができています。

植物 アカツメクサ、ハルシャギク、ヒメジヨウ、ツユクサ、ヨウシュヤマゴボウ、ヒルガオ、イシミカワ、ブタナ、ワルナスビ、ヌマトラノオ(右写真)、ダキバアレチハナガサ、タカサゴユリ、エノコログサ、ヤブガラシ、マルバルコウソウ、ヘクソカズラ、アオツズラフジ、ヤマノイモ、オニドコロ、セイヨウニンジンボク、実(カラスウリ、ムラサキシキブ、どんぐり各種、ノブドウ、アオツツラフジ、ミツバアケビ茶色くなる、イソノキ熟し始める、ヤマハゼ、サワフタギ、アズキナシ、オニグルミ)、

昆虫 キタキチョウ、ヤマトシジミ、ジヤノメチョウ、コムスジ、プライアハマキ、ヨツボシホソバ幼虫、ミノムシ・オオミノガ、バッタ類(ツチイナ幼虫ゴ・ショウリョウバッタ、オカメコオロギ類)、オオカマキリ幼虫、ニイニイゼミと声、クマゼミ声、アブラゼミと声、ツクツクボウシ声、ホソヘリカメムシ、ブチヒゲカメムシ、ホシハラビロヘリカメムシ、オオホシカメムシ(アカメガシワ種)、アミガサハゴロモ、ツマグロオオヨコバイと幼虫、オオヤマトンボ、クロイトトンボ、アオモンイトトンボ、マユタテアカネ雌雄、ホソヒラタアブ、ミカワオサムシ、クズノチビタマムシ、クロウリハムシ、コブキゾウムシ、サメハダツブノミハムシ、マメコガネ、ヨツボシアカマダラクサカゲロウ幼虫、クロアナバチ、セグロアシナガバチ、スズメバチ類、

クモ アシナガグモ、ナガコガネグモ、ジョロウグモの巣増える、サツマノミダマシ、コガタコガネグモ幼体、ゴミグモ幼体、チュウガタシロカネグモ、**鳥** メジロ、シジュウカラ、コシアカツバメ数羽、カワウ、カイツブリ声と若鳥、**その他** カナヘビ、(虫こぶ):モギクキワタフシ、(菌類:フクロタケ、ヤマドリタケモドキ)



次回は、9月9日(木)午前9時30分、水資源機構P前、参加費100円 雨天中止